

令和5(2023)年度呉市立美術館コレクション展Ⅰ「呉美の陶芸作品そろい踏み again

呉市立美術館は陶芸作品をコレクションの一つの柱としています。その発端は1985(平成8)年開催の「新しい造形への招待ー現代のやきもの展」にあります。「装飾と造形」という陶芸における二大要素をテーマに、20名の新進陶芸家に出品を依頼し(うち16作家の作品を収蔵)、多様な現代陶芸の諸相を紹介し、意欲的な企画として高い評価を受けました。

以来、個性豊かなコレクションを形成してきたところです。本展では、「装飾と造形」をベースに、「彫刻と陶芸」「伝統と革新」などの視点から、富本憲吉、加藤卓男、三代徳田八十吉、森野泰明、柳原睦夫、中村錦平、西村陽平ほか25名の作家の作品約50点により、当館陶芸コレクションのエッセンスを展覧します。

本展は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言のため、開幕後2週間であえなく休止した令和3年度コレクション展Ⅱのリバイバルです。せっかくの手塩にかけた企画であり、当館陶芸コレクションの全貌を紹介する貴重な機会です。

ぜひ、この機会に近現代陶芸の百花繚乱とも言える精華をお楽しみください。今回はお見逃しなきよう。



中村錦平
《香炉「らでしよなるや」》
1986年



富士原恒宣
《白瓷扁壺》1989年



加藤卓男
《三彩花器「爽容」》
1994年



鈴木治《遠い馬》1977年



林秀行《行儀のよい天使》
1982年

柳原睦夫
《紺釉金銀彩花瓶》
1971年

KURE MUNICIPAL MUSEUM of ART
2023's 1st Collection's Exhibition
Lineup of Art Ceramic Collection,
Again

Kure Municipal Museum of Art has collected masterpieces of Japanese modern art ceramic. This time, we exhibit about 50 pieces among our collection to show you the essence of our art ceramic collection. Please enjoy various aspects and charms of Japanese modern art ceramic.



川崎千足
《ロマンチズム編み》
1977年

【関連イベント】

■ワークショップ「陶芸でいろいろな形を作ろう!」

陶芸は粘土で形を作り、高温で焼き固めて作品を作る芸術。粘土は可塑性(かそせい)に富む(様々な形を作ることができる)優れた素材です。講師の手ほどきで、粘土でお碗、お皿、オブジェなど自分が作りたい形を作り、講師が仕上げ(焼いたり色をつけたり。約1カ月かかります)をし、着払いでお届けするか、当館でお渡しします。

日時: 5月20日(土) 13:30~15:30 会場: 呉市立美術館 別館ミニギャラリー

講師: 岩本道明(陶芸家、陶器制作工房「岩屋工房」(呉市川尻町)主宰)

申込: 5月10日(水)までにお電話(0823-25-2007)または呉市立美術館HP(<https://www.kure-bi.jp/>)の専用フォームでお申し込みください。定員を越えた場合は抽選。

対象: どなたでも(小さいお子様は保護者同伴)

定員: 15名 参加料: 2000円(入館料を含む)



ワークショップ作例

■ギャラリートーク

担当学芸員が展示会の見所を解説をします。会場は展示室内。事前申込・参加料は不要ですが、ご参加には入館券が必要です。

日時: 4月29日(土)、5月13日(土)、6月3日(土) 各日11:00~(約45分)

※ 開催内容に変更が生じる場合があります。最新情報は当館HPまたはTwitterでご確認ください。